

イントロダクション フォーラム

バイオ燃料は気候変動対策か?

地球・人間環境フォーラム
坂本 有希
sakamoto@gef.or.jp



各国の野心的な利用目標

- EU: 2020年輸送用燃料の10%
- アメリカ: 2022年までに360億ガロン(輸送用燃料の20%以上)
- 日本: 2010年50万kl(輸送用燃料の0.7%)



増産に乗り出す生産国

- インドネシア・マレーシア:
- ブラジル: バイオエタノール生産を200億リットル
2030年666億リットル(サトウキビ栽培面積は600万ha 1,390万ha)
- タイ: アブラヤシプランテーション面積を5年間で40万ha増やす
- 中国: (エタノール) (バイオディーゼル)
2010年 200万t 20万t
2020年 1,000万t 200万t



持続可能性への懸念と目標見直し

- EU政策への批判
エネルギー収支 / 土地利用の競合 / 森林生態系等の生物多様性の消失 / 社会影響 等
- ドイツ: バイオ燃料使用車増加計画及びエタノール比率の引き上げの中止
- イギリス: 2010年以降のバイオ燃料政策決定にバイオ燃料による間接影響等の見直し
- 生物多様性条約事務局、急速なバイオ燃料の開発が生物多様性に大きな影響と報告まとめる

